

胆振管内 白老町立白老中学校

1 学習活動の概要

「ウポポイ」に関する調査、見学及び体験活動を通じて、白老町の新たな魅力や価値を再発見し、ふるさと白老への理解や愛着を深めるとともに、白老町の発展に主体的に参画しようとする態度を養い、北海道の魅力や価値に気付かせる学習活動を行いました。

2 取組の様子

(1) 課題の設定

ふるさと学習「白老町を再考する」というテーマを基に、様々な角度から生徒一人一人に白老町の課題を設定させ、学習の見通しをもたせました。

(2) 情報の収集

第1学年で町のガイドマップを作成する際に、協力いただいた事業所にFAXや電話でインタビューを行い、地域の活性化に向けた取組の状況や課題に関する情報を収集しました。

また、「ウポポイ」の見学・体験を実施することにより、生徒は、『ウポポイ』を活用した町の活性化へと視点を広げ、地域調査を行いました。

(3) 整理・分析

生徒が新たに発見した町の魅力や価値について、収集した情報を整理し、『ウポポイ』を活用した白老町プロジェクト』を作成しました。

(4) まとめ・表現

まとめとして、『ウポポイ』を活用した白老町プロジェクト』に基づき、校内で、白老町を活性化させるための提言を行いました。



【「ウポポイ」見学の様子】



【オハウ体験の様子】

3 生徒の感想等

- ・「ウポポイ」の知名度を上げるためには、SNS等を使った発信が必要ではないかと思いました。
- ・「ウポポイ」以外のお店等の情報も広めることが白老町の活性化に必要ではないかと思いました。
- ・普段、町の人に意見を聞くことがないので、自分たちより長く住んでいる人の話を聞くのはすごくためになりました。今回の「未来の白老をどうしたいか」という自分の課題について、自分事として考えることができました。
- ・「ウポポイ」は、アイヌの人たちの文化を楽しく分かりやすく知ることができ、アニメーションがあることで記憶に残りやすい施設でした。
- ・白老を今まで「よい町」と思ったことはあまりなかったけど、この学習を機に考え直すことができました。これからも白老を大切にしていきたいと思います。